

2020 年度

帝塚山大学 子育て支援センター活動記録

1. つどいの広場

つどいの広場は、2019 年度の最終回から新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止とし、2020 年度の会員募集は SNS のみで小規模に開始した。登録組数、人数は表 1 の通りである。

2020 年度のつどいの広場の会員募集を行ったが、大学の前期授業が新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から遠隔授業となったことで、つどいの広場も前期（4 月～7 月）は中止とした。後期（10 月～3 月）のつどいの広場も対面での実施は中止としたが、つどいの広場の登録会員向けに ZOOM を活用した「オンラインつどいの広場」を 16 回実施した。各回の参加組数、人数、学生ボランティアの人数は表 2 の通りである（登録会員は A、B の 2 グループで募集）。

表 1 2020 年度つどいの広場登録会員

	組	人数
A	27	29
B	24	28
合計	51	57

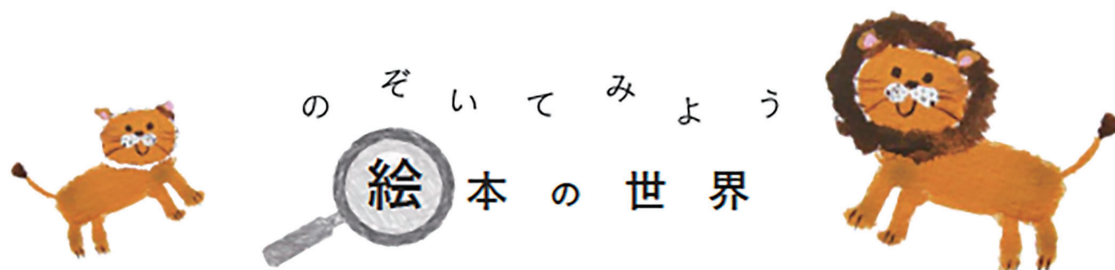
表 2 オンラインつどいの広場の参加者

	10/15	10/22	10/29	11/5	11/12	11/19	11/26	12/3
参加組数	3	7	9	5	3	4	0	0
大人	3	7	9	5	3	4	0	0
こども	4	9	10	6	3	4	0	0
学生ボランティア	2	3	3	3	3	2	1	2
	12/17	12/24	1/14	1/28	2/4	2/25	3/11	3/25
参加組数	5	0	3	1	3	2	2	2
大人	5	0	3	1	3	2	2	2
こども	5	0	4	1	3	2	2	3
学生ボランティア	2	2	2	2	1	2	3	0

2. ZOOM を活用した「オンラインつどいの広場」の特別講座

ZOOM を活用した「オンラインつどいの広場」の一環として、本学教育学部准教授の徳永加代先生を講師として「のぞいてみよう絵本の世界」というテーマで、登録会員以外も参加できる特別講座を 1 回実施した（図 1）。

当日は、9 組の親子が参加した。参加者からの感想、スタッフの振り返りを表 3、表 4 にまとめた（参加者の感想は原文ママ）。



どんな絵本にしようかな、どんなふうに読み聞かせようかな、といった絵本のはてな。
今回は「絵本専門士」^{※1}の徳永加代先生をアドバイザーに迎えて、おすすめの絵本を
紹介しあったり、日頃のはてなを語り合う広場を開催したいと思います。
オンラインで開催しますので遠方の方もお越しいただけます。ぜひお子さんをひざに
くつろぎながら、お気に入りの一冊を手にご参加ください。

※1 絵本に関する高度な知識、技能及び感性を備えた絵本の専門家

2020年12月3日(木)13:00～

※講座はZoomを使用して行います。45分程度を予定していますが、進行状況により多少前後することがあります。

対 象

絵本や読み聞かせに関心のある方どなたでも
乳幼児絵本を中心に読み聞かせ対象の年齢に合わせてお話しします。

内 容

のぞいてみよう絵本の世界（絵本選びや読み聞かせについて等）
参加者同士一冊ずつおすすめの絵本を紹介しあいますので好きな絵本を一冊ご準備ください。

講 師

徳永加代先生
長年小中学校現場で活躍、現在は帝塚山大学で教育者を目指す学生たちに国語科教育法を指導。
絵本専門士としても各地で絵本を読んだり、また読む方々へのアドバイスを行うなど意欲的に活動中。

参加方法

参加希望の方は、下記の内容をメールでお申込みください。

〈宛先〉 child@tezukayama-u.ac.jp

〈件名〉 のぞいてみよう絵本の世界 申込

〈内容〉 ①参加される方の名前（ふりがな）

②読み聞かせするお子さんの年齢

③連絡先アドレス

④先生に聞きたいことやその他の質問があればお書きください

講座資料やZoomのご案内はお申込みいただいた方へ直接メールしますので受信できるよう
ご準備ください。**11月30日(月)**までにお申し込みください。

図1 特別講座の概要

表3 特別講座参加者の感想

- ・参加型って聞いた時は抵抗あったけど、やってみたら一方的に説明されるより楽しかったよ。他のママさん達のお気に入りの本の紹介も生の口コミで参考になるし欲しくなった。子どものために読む時に自然にやってたことが間違いじゃなかったんやっということが分かって良かった。今日は、絵本を読むことはコミュニケーションって言うてはったけど、将来の学力に影響するとか学習面ではどうなのかも知りたいなあ。
- ・今日のセミナーちょっと緊張しちゃったけど、すごい楽しかった。まず読み聞かせもコミュニケーションの一つってことが改めて知れたのでこれから読み聞かせの時間がより楽しい時間になりそうでわくわくします。それと、たくさん質問してたけどセミナーの中で全部受け答えしてくださって、それでいいんやあとか、深く考えなくてもいいんやあって楽になったし、色々解決できました。あと、他の参加者の方や先生のオススメの絵本の紹介があって、色々な絵本に出会えたのも良かったです。また機会があればお願いします。
- ・自分の知らない絵本を知れたり、他のママさんたちがどんなふうにしてるのかを聞けてうれしかったです。それとどんなふうにしてるのかを答えたときや、本を紹介した時に徳永先生が、それでいいのよと肯定してくださる言葉がうれしかったです。大学でも色々学んで、絵本の読み聞かせはいいものだよねあと思いながらとりあえずやってみているという感じだったので。終わった後いろいろ読んであげたいなあと思いました。
- ・絵本について考える機会もなかったので、改めて読み聞かせを見返す良いきっかけになりました。先生の温かい雰囲気がとても印象的でした。こちら側の意見や、親による読み聞かせ全般に対して非常に肯定的に受け止めてくださっていたので、話しやすかったです。
- ・絵本についての質問を考えたときに、自分では思い浮かばなかったことも他の方が質問にあげてくださっていたので良かったです。同じように子育てしている方の質問はやはり共感できて、私も興味のある内容だったので勉強になりました。
- ・絵本が子どもとのコミュニケーションツールの一つという当たり前のようなことでも、今回講義でその言葉を聞いたことで、今まで毎日のルーティンのようになっていた読み聞かせをするにあたって、ただ読むだけでなく、子どもを意識して読むようになりました。

表4 特別講座スタッフの振り返り

【開始前の時間について】

ZOOMでの初顔合わせに緊張や抵抗が最初はみられましたが、先生のお話でみなさんどんどんほぐれていくのがわかりました。事前にスライドで説明を入れる予定でしたが、その必要はなく、開始前30分も徳永先生のおしゃべりタイムで徐々にみなさんが暖まっていきました。ZOOMに対しては問題もなくスムーズに進行。ZOOMの使用方法的説明は別の形でお伝えし、開始前に会話交わすことでリラックスしてスタートできる今回の形がベターだと感じました。

【時間について】

45分という時間はお子さんがいっしょの場合はちょうどよく、お子さんを預けて参加された方などもっと深く話をしたそうなお方もおられました。今回は個々に事後の感想をお寄せいただきましたが、今後は講演の最後に感想の送り先などご案内をしようと思います（オンラインアンケートもしくはメール等）。参加しやすい日程や時間帯、聞けてよかったこと、聞き足りないこと、関心があること等おたずねし、今後に活かせたらと考えています。

【内容について】

今回は初回で参加見込みもたないためテーマを絞りすぎず実施するという感じとなりました。途中退出予定の方もいらしたので、まず事前にいただいた質問を優先し、絵本の選書と読み聞かせ方の二つにわけて先生が答えていかれました。それから参加者が絵本を紹介しあい、最後は資料にしたがって絵本とはなにかという講座と絵本の紹介を行いました。限られた時間を非常に密に使い、いただいた感想からもしっかり満足いただけたように思います。

今回の結果をふまえ、次回以降はテーマをさらに絞りやすくなると思います。先生も時間が足りないようでしたので、できるだけ聞く方話す方双方の満足度が高まる講座の形を考えていきたいと思います。

【参加者の反応・感想】

参加者の事前質問をたくさんお寄せいただき、絵本への関心の高さに驚きました。それぞれの質問を受けとめ、労い、肯定し、アドバイスされたことを最も喜ばれていました。「それでいいのよ」と肩をたたいてもらうことが最も大切で、育児に奮闘されているお母さんに必要だったのかなと感じました。答えは一つではなく、お母さんがふだん自然にされていることの効果を意識したり、逆にいらない力が抜けたり、それぞれの方がいい方向に進まれたなと感じます。

また、参加者同士絵本を紹介しあうことで、他のお母さんの生の声を聞いたり、コミュニケーションがはかれたことも非常に喜ばれていました。こういった育児の交流の場が少ない今、オンライン講座を通じてコミュニケーションが図れたらよりよいと考えます。

3. SNSを活用した取り組み

登録会員の親子を中心に自宅でも楽しんでもらえるように、SNS（インスタグラム「kosodate_matsubokkuri」 https://www.instagram.com/kosodate_matsubokkuri/）に折り紙動画などをアップした。

2020年6月5日に「かんたんどうぶつおりがみ vol.1」を初めてアップしてから継続的にアップしていき、2021年3月19日の「スケッチブックシアター でんしゃのいちにち vol.36」まで計36個の動画をアップした。

4. 親子教室

2020年度の親子教室は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から開催しないこととした。

5. 学部教育との連携

例年は、教育学部こども教育学科の1年次生向けに開講されている基礎演習Ⅱの授業において、つどいの広場がリフレクション実習（親子とのふれあい体験）として活用されてきた。2020年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から「つどいの広場」がZOOMを活用した「オンラインつどいの広場」での実施となったため、対面での親子とのふれあい体験はできなかったが、オンライン子育て支援の様子を見学したり、オンライン子育て支援に一部参加したりすることで教育の機会を確保した。

6. なら子育て大学（研究会、学術講演会及び公開講座の開催）

「なら子育て大学」とは、保育士養成課程のある6大学（畿央大学、帝塚山大学、奈良学園大学奈良文化女子短期大学部、奈良教育大学、奈良佐保短期大学、大阪樟蔭女子大学）が連携して

行う講座の呼称であり、各大学が子育ての不安感・負担感の軽減につながる講座や子育て支援者の資質向上に役立つ講座を「なら子育て大学」「出張・なら子育て大学」として実施している。

「出張・なら子育て大学」は、市町村や民間団体などからの依頼に基づき講座の開催を行うものであり、2020年度は表5に示した2つの講座を開催した。

表5 出張・なら子育て大学の実施状況

実施日	依頼団体	講演テーマ	講師	参加
2020年 10月26日	奈良市地域子育て支援センター そらいろ	親子のからだコミュニケーション遊び	岡澤哲子 教授	9名
2020年 11月4日	奈良市地域子育て支援センター そらいろ	のぞいてみよう 絵本の世界	徳永加代 准教授	15名

7. 地域の子育て支援大学ネットワーク会議（学外諸団体及び研究機関との交流及び共同研究）

地域の子育て支援大学ネットワーク会議は、奈良県（事務局：こども・女性局女性活躍推進課）が少子化対策として地域の子育て支援力の向上のために保育士養成課程を有する県内の6大学（畿央大学、帝塚山大学、奈良学園大学奈良文化女子短期大学部、奈良教育大学、奈良佐保短期大学、大阪樟蔭女子大学）と連携して設置しているもので、年1回程度会議を開催し、奈良県と各大学の代表者が子育て支援に関する情報交換や意見交換を行っている。

2020年度は、10月12日（月）に、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から Webex を用いたオンライン会議で開催され、本学からは石田慎二教授（子育て支援センター長）が出席した。

8. 研究成果の公表・公刊

子育て支援や子育てに役立つ研究成果を公表・公刊するため、毎年度『子育て支援センター紀要』をオンラインジャーナルで発行している。2020年度も『子育て支援センター紀要 第2号』を発行し、6本の原稿を掲載した。

（文責）

石田慎二（教育学部教授・子育て支援センター長）